

も

さいたま市防災都市づくり計画(案)

も

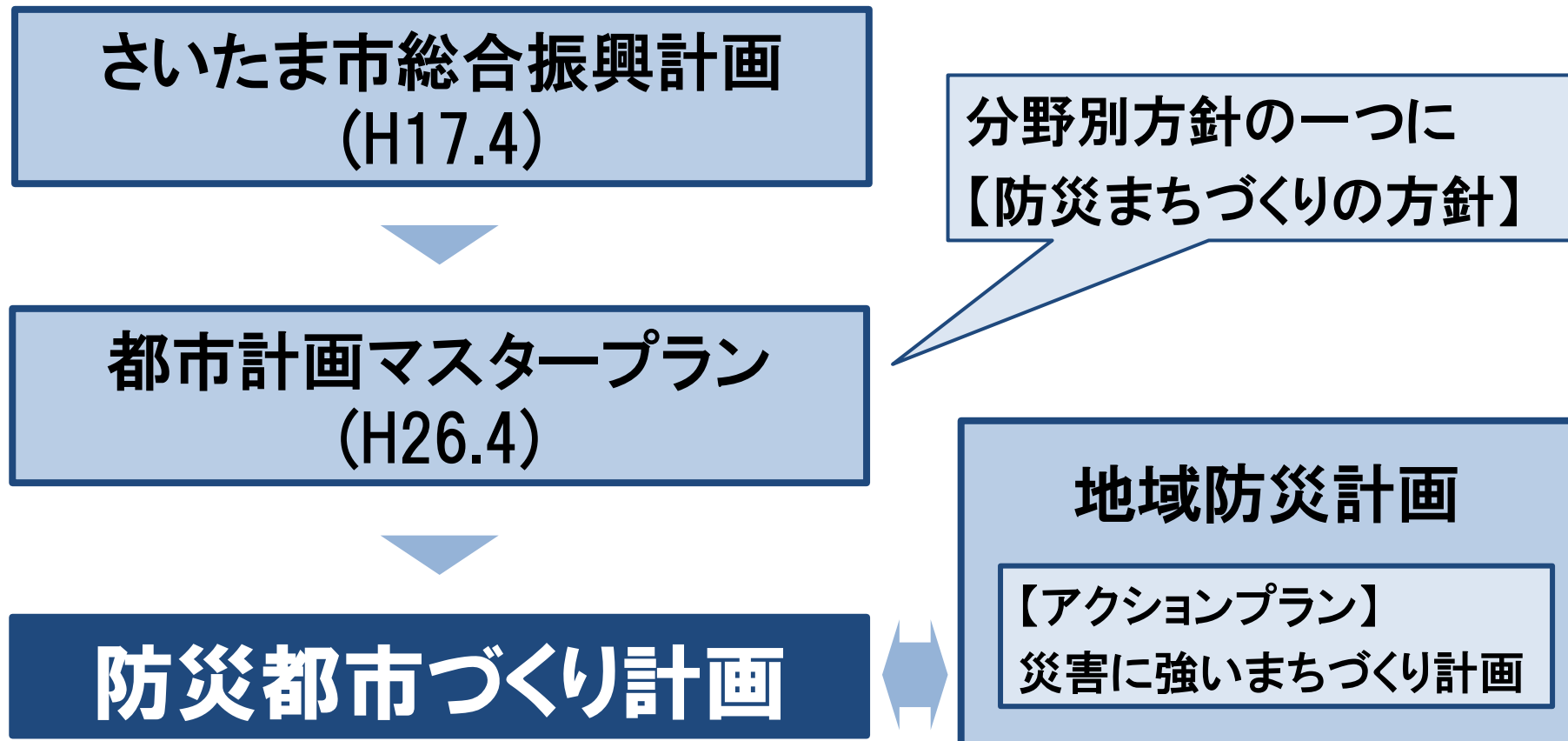
防災とは



安全・安心のために、防災“だけ”の視点で都市づくりを進めるのではなく、防災“も”含めて、利便性や快適性も備えた総合的な都市づくりの推進を目指すものです

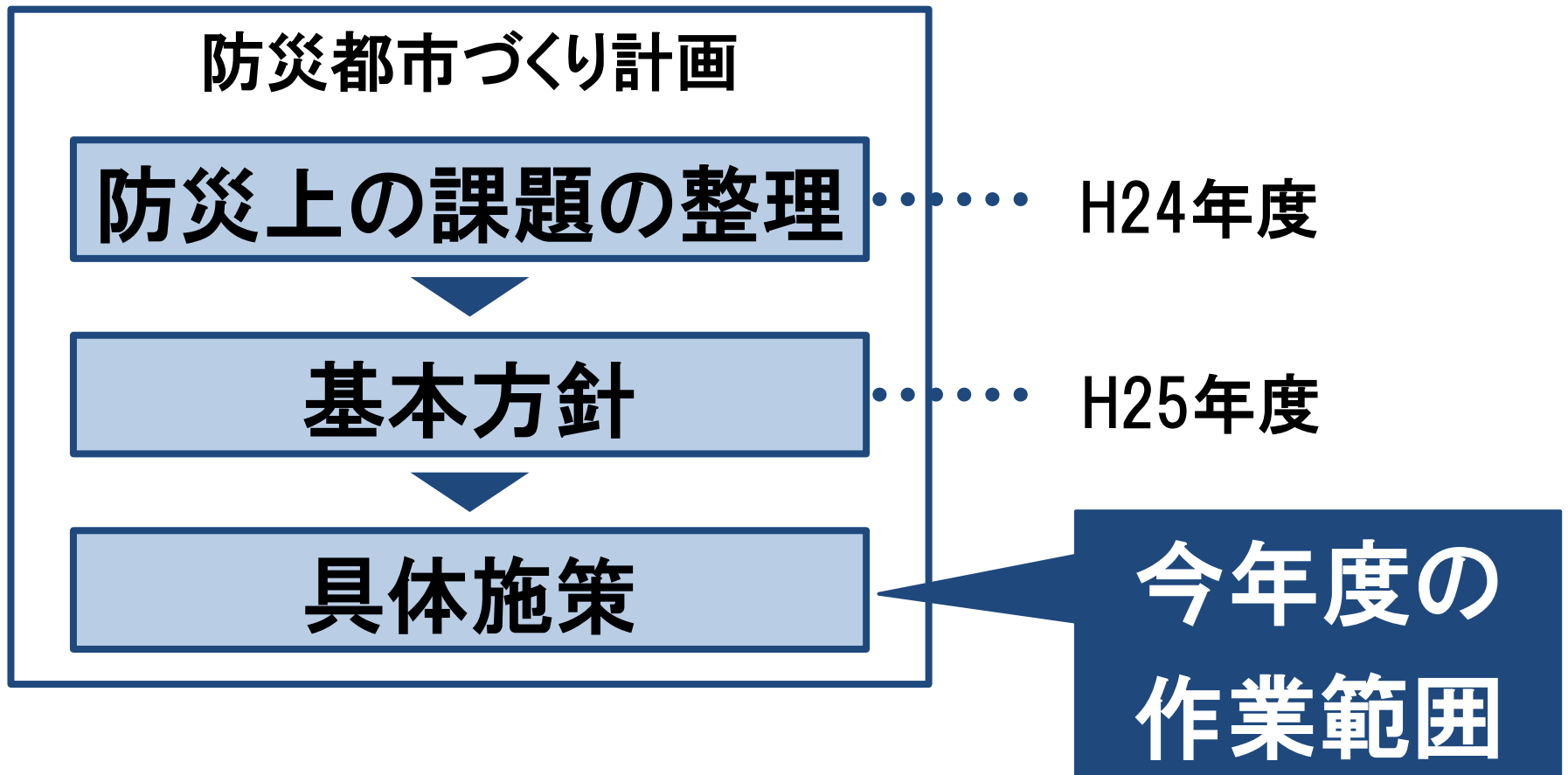
「防災都市づくり計画」の位置付け

●計画の位置付け



「防災都市づくり計画」の全体構成

●全体構成と今年度の作業範囲



基本方針のおさらい

●3つの視点



事前 災害前に災害時のリスクを事前に減らす

復旧 災害発生直後の都市機能を確保する

復興 被災したまちの復興に備える

●4つの方針

事前 方針1 災害リスクが高い地区を優先的・重点的に改善する

方針2 将来都市構造を実現しながら都市の防災性を高める

復旧 方針3 災害時に市民の生活を守るための都市機能を確保する

復興 方針4 被害を受けても円滑に復興するための備えを進める

⇒方針毎に具体施策を展開 3

具体施策 1 【事前】

災害リスクが高い地区の優先的・重点的な改善

●重点的に取り組む必要がある災害リスク

本市で想定される災害リスク

・地震災害 ・水害 ・風害(突風・竜巻) ・土砂災害等



- ・ 発生する確率が高く、また、その発生は予測できない
- ・ 発生すると、火災被害も合わせ、被害規模が大きい

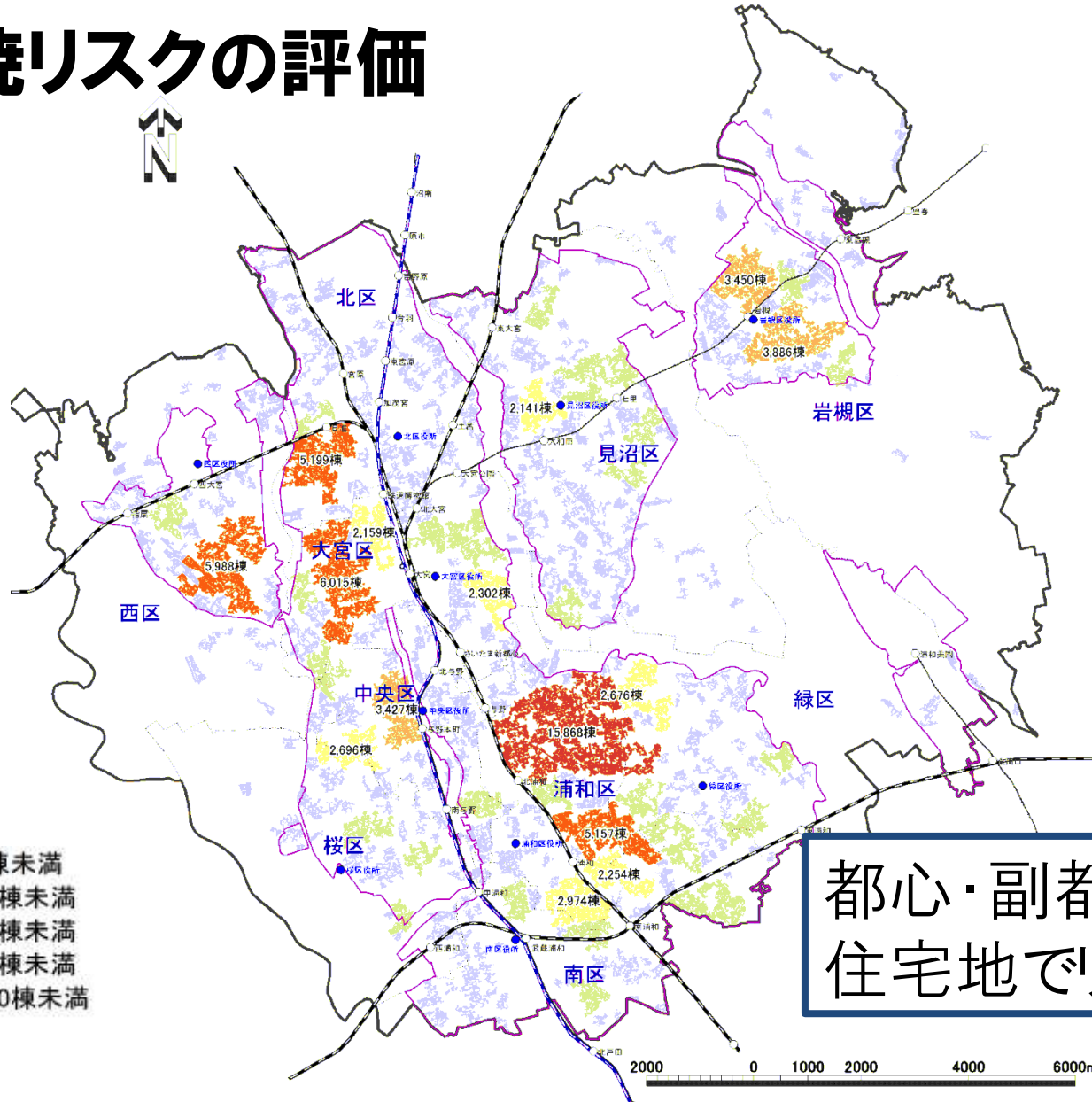


大規模な延焼が発生しないように、また、発生しても、避難場所等に逃げられるようにすることが必要

具体施策 1

【事前】

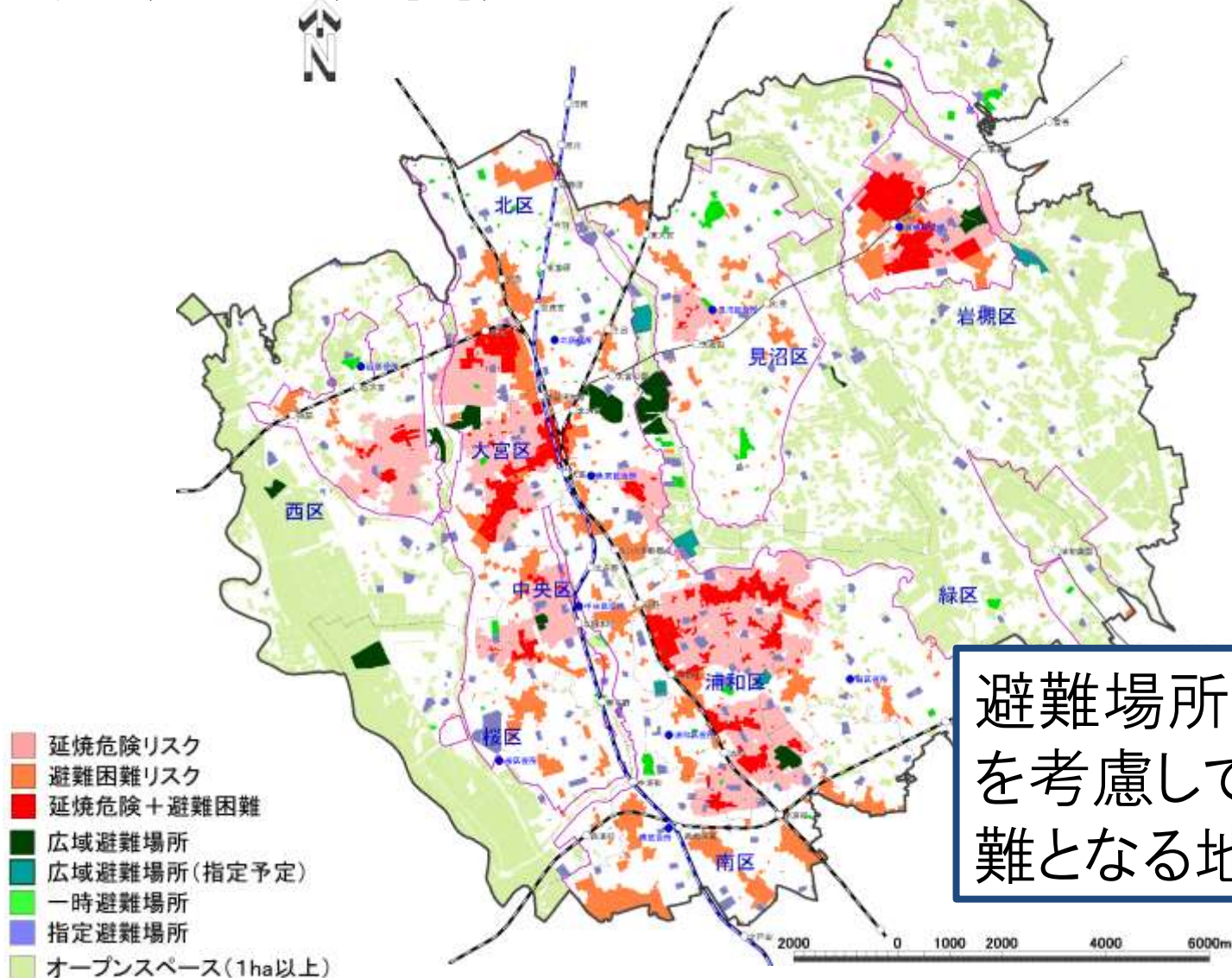
●延焼リスクの評価



都心・副都心周辺の住宅地でリスクが高い

具体施策 1 【事前】

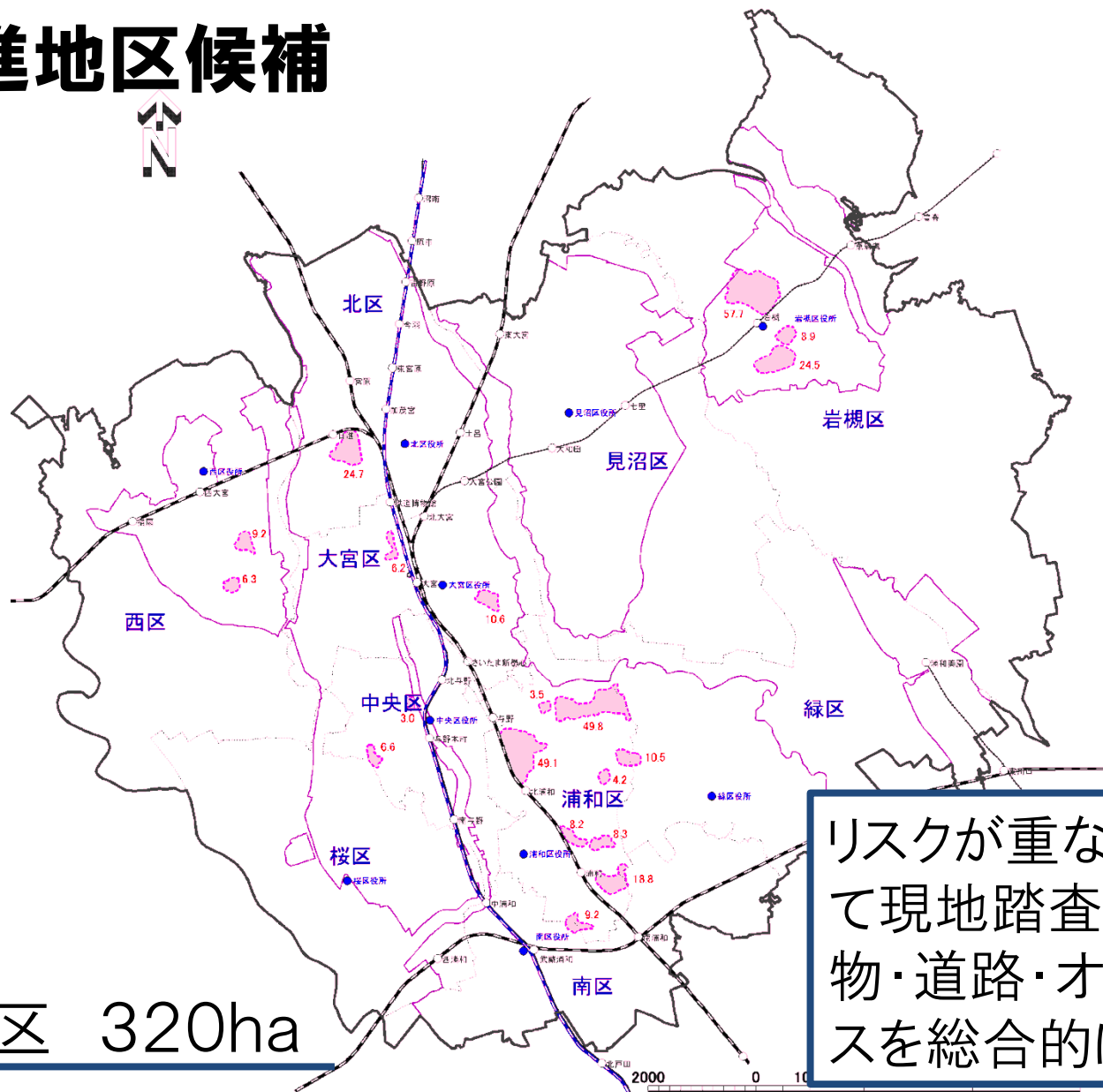
●延焼と避難困難リスクの評価



避難場所以外の空地を考慮しても、避難困難となる地区の存在

具体施策 1 【事前】

●推進地区候補



19地区 320ha

リスクが重なる地区について現地踏査を行い、建築物・道路・オープンスペースを総合的に評価

●対象地区と具体施策

STEP 1
延焼リスクが高い地区

▶ 防火・準防火地域の指定により、延焼リスク軽減へ

STEP 2
延焼と避難困難リスクに地区特性を考慮
⇒ 推進地区候補

▶ 建築物の耐震化・狭あい道路の拡幅・オープンスペースの保全・確保により、避難空間の確保へ

STEP 3
推進地区候補にて住民の意向をふまえる
⇒ 推進地区

▶ 整備型地区計画を国庫補助事業の導入により事業化することで、防災“も”含む住環境の向上へ

将来都市構造を実現していく過程で都市の防災性を向上

●安全な高密度市街地の形成

- 都心・副都心等の市街地開発事業の優先的な推進
- 市街地の不燃化、道路やオープンスペース等の骨格的な施設の整備

●災害リスクを考慮した土地利用や都市施設の整備

- 浸水や液状化リスクが高い地域の無秩序な開発の抑制
- 災害危険性が高い地域における避難場所や、延焼遮断帯・避難路の優先的な整備

災害時に市民の生活を守るための都市機能を確保

●広域防災拠点等の整備

- オープンスペースの整備
- 緊急災害対策本部の代替拠点
- 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)や緊急消防援助隊の集結拠点

●広域的な道路ネットワークの整備

- 緊急輸送道路の整備や沿道建築物の耐震化
- 自動車専用道路のネットワーク化

具体施策 4 【復興】

被害を受けても円滑に復興するための備え

●災害時対応力の向上

- 被害の軽減や円滑な復興に必要な対策を推進するため、災害リスクの高いエリアを把握するモニタリングを実施
- 復興イメージトレーニング等を通じ、対応力の向上

●震災復興行動指針の作成

- 地域や住民、行政による復興の役割分担
- 当面の復旧から長期的な復興までを円滑につなげる復興シナリオの設定

⇒これらの視点を盛り込んだ震災復興行動指針を作成

計画の進め方 【本市における特徴的な取組】

「さいたまシティスタット」の防災バージョンとして構築

●モニタリングによる継続的な評価と施策の見直し

- ・ 災害リスクの変化を継続的に把握

●オープンデータによる自助共助の取組促進

- ・ GISによる防災まちづくり情報マップの公表

(→地区住民による防災計画や防災マップの作成)

- ・ 推進地区の検証
- ・ 問題箇所の分析

Act

Plan

- ・ 具体施策の検討
- ・ 推進地区の抽出・更新

モニタリング

- ・ 基礎データの更新
- ・ リスク変化の評価

Check

Do

- ・ 施策・事業の実施
- ・ 都市計画決定等

オープンデータによる自助共助の取組促進のイメージ

The screenshot displays the Saitama City Map Information website interface. At the top, there is a navigation bar with buttons for '地図移動' (Map Move), '範囲拡大' (Zoom In), '中心移動' (Move Center), '印刷する' (Print), '全域表示' (Full View), '住所検索' (Address Search), '地図の傾' (Map Tilt), 'その他のツール' (Other Tools), and '強制解除' (Force Release). Below this is a sidebar with a '操作パネル' (Operation Panel) containing options like '広域案内' (Wide Area Guide), '近くにある施設' (Facilities Nearby), '地図表示設定' (Map Display Settings), and '表示更新' (Refresh Display). The main map area shows a detailed view of a city block with various colored overlays representing different zones. A red dashed line indicates a zoomed-in view of a specific area, which is shown in a separate inset window at the top right. This inset window shows a dense grid of buildings and roads, with yellow callouts highlighting '道路せまい' (Narrow roads) and '建物の間隔がせまい' (Narrow building spacing). Another yellow callout in the main map area points to 'オープンスペース(農地)あり' (Open space (farmland) present). The bottom of the page features a '凡例' (Legend) section.

建物や道路等の情報と災害リスクの情報をもとに、
地域の方々がその特性に合せたまちづくりを考えます。

●推進地区における取組の支援(施策1)

- 災害リスク情報を地区住民と共有した上で、住民と協働して地区のまちづくり方針を検討
- まちづくり方針に基づいた整備型の地区計画を決定し、住環境の向上を含めた総合的な整備の実施

●将来都市構造実現に向けた社会資本整備(施策2)

- 社会資本整備の基本戦略の導入
⇒効果的・効率的な事業の推進
(新たな補助制度導入などによる補助金の拡充)

今後の予定

H27.2頃

.....

議会報告

H27.4頃

.....

パブリック・コメント

H27.6頃

.....

計画策定

H27.8頃

.....

都市計画審議会への報告

H27.9頃

.....

議会報告

以降

.....

- 推進地区候補の住民へ説明
- 庁内各種プロジェクトとの調整
- モニタリングの継続
- 社会資本整備に関する計画の検討